

株式会社 あららぎ 索道安全報告書

2008年度版

あららぎ高原スキー場

(あららぎ第1クワッドリフト あららぎ第2ペアリフト)

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。

安全の確保は、索道事業の最も基本的なサービスであり、大きな責務でもあり、当社も安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや、安全の実態について、その内容をまとめ「報告書」として公表いたします。ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

(株) あららぎ 代表取締役社長 加藤 常文

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。社長、役員及び従業員の安全に係る安全規範は、次のとおりとする。

- ① 安全は輸送業務の最大の使命である。
- ② 安全の確保の基礎は、規程の理解と遵守にある。
- ③ 確認の励行と連絡の徹底は安全の確保に最も大切であり、判断に迷った時は最も安全と思われる方法をとらなければならない。
- ④ 安全の確保のためには職責を超えて一致協力しなければならない。
- ⑤ 事故が発生した場合には、人命救助が全てに優先し、併発事故の阻止をする。

(2) 安全目標

安全の確保は、索道事業者の最大の使命であることから、規程を遵守し、事故を起こさないよう努めてまいります。

そのために、次の目標を掲げます。(2009～2011年度)

- 設備の不具合による事故 乗客の死傷を伴う事故を3年間発生させない。
- 人身傷害事故 3年間の発生件数を1件以下とする。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(ア) 索道運転事故 (索道人身傷害事故)

2008年度、国土交通省への運転事故報告はありません。

(イ) 災害 (地震や暴風雨、豪雪など)

2008年度、災害による運行停止はありません。

(ウ) インシデント (事故の兆候)

2008年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

(エ) 行政指導等

2008年度、国土交通省からの行政指導等はありませんでした。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

当社では、輸送や利用者の皆様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設及び取扱についての安全教育を実施しています。また、索道協会開催の各種研修会にも参加受講しました。

(2) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン営業開始前に、従業員一同にて救助訓練を実施しています。2008年度は消防署レスキュー隊と合同で救助訓練を実施しました。



2

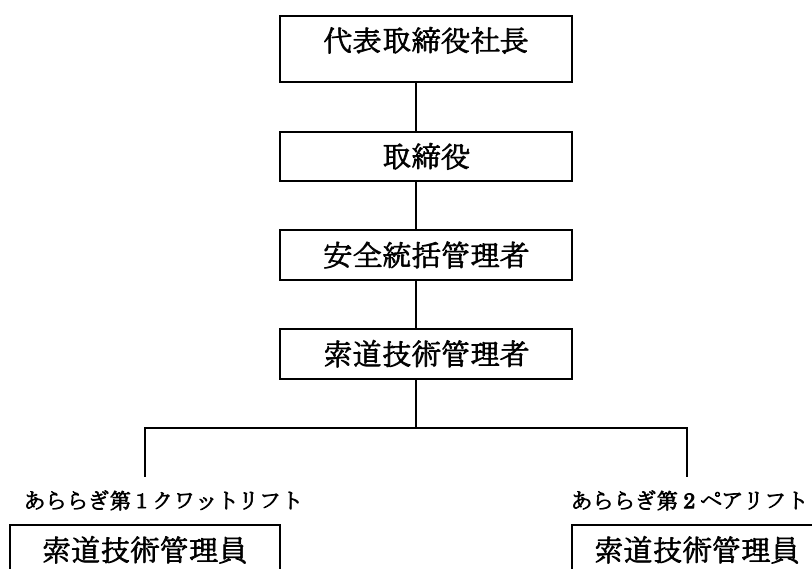


(3) 安全のための投資と支出

安全維持・向上のために、施設の修繕を行っています。2008年度は、
 第1クワッドリフト 7・11・12号支柱索受装置ブッシュ交換。
 第2ペアリフト 油圧制動機ユニットの交換等を実施しました。

5. 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしたうえで、安全確保のための役割を担っています。



社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
索道部長 (安全技術管理者)	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する
索道課長 (策動技術管理者)	安全統括管理者の下、作道の運行管理、策道施設の保守の管理 その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する
索道主任 (索道技術管理員)	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行の管理 索道の保守の管理等索道技術管理者の行う業務を補助する

6. 利用者の皆様へのお願い

リフト乗降時の注意事項

- ① リフト利用に不安のあるお客様は、係員にお申し出下さい。
- ② イスから飛び降りたり、イスを揺らさないで下さい。
- ③ ウェアー・携帯品等が、リフト設備に引っ掛らないよう注意してください。
- ④ 改札後は係員の指示に従ってください。
- ⑤ 空き缶・タバコの吸殻等をご乗車中のリフトから投げ捨てないで下さい。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

〒395-0501 長野県下伊那郡阿智村浪合 153

4月上旬～12月上旬

(株)あららぎ (あららぎカントリークラブ)

TEL 0265-47-2331

FAX 0265-47-2334

12月下旬～3月中旬

(株)あららぎ (あららぎ高原スキー場)

TEL 0265-47-2201

FAX 0265-47-2334 (共通)